

- 問1 1872年に制定された学制において、身分や性別を問わずすべての国民が教育を受ける権利を認めた理念を何という？
- 問2 明治政府内で、朝鮮への使節派遣を巡り意見が対立して政争となった議論を何という？
- 問3 田中正造が議員辞職後に直訴を試みた、当時の日本の君主は誰？
- 問4 日露戦争に出征した弟を想い、その悲惨さを訴える詩を執筆した人物は誰？
- 問5 明治政府が近代化を進めるために制定し、不平等条約改正の条件としても重要視された、日本を立憲君主制の国家とする憲法を何という？
- 問6 国会開設などを経て発展した、議会を通じて国政を行う政治形態を何という？
- 問7 明治時代、生糸の生産などで発展し、日本の資本主義経済の基礎となった産業を何という？
- 問8 明治初期、国会の開設と国民の政治参加を求めて全国で盛り上がった運動を何という？
- 問9 明治政府が欧米諸国の産業を取り入れ、国力を高めるために進めた政策を何という？
- 問10 清を倒して新しい共和制国家を建てることを目指し、三民主義を唱えた革命の指導者は誰？
- 問11 明治時代、企業による生産活動が拡大し、工場での大量生産が広まった経済の仕組みを何という？
- 問12 明治時代の日本の産業革命において、主に若い女性が過酷な長時間労働を強いられた場所はどこ？
- 問13 日清戦争後に結ばれた講和条約で、日本が多額の賠償金を得て重工業化を推進した条約を何という？
- 問14 下関条約後に日本国民の間で高まった、復讐を誓って苦労に耐えることを意味するスローガンを何という？
- 問15 自由民権運動の高まりの中で、1880年に国会開設を求めて結成された組織が創設された場所はどこですか？
- 問16 足尾銅山の鉱毒被害に対し、国会で何度も政府を追及し、被害住民のために一生をささげた人物を誰という？
- 問17 大日本帝国憲法において、統治権の総攬者として主権を持っていたのは誰？
- 問18 日本初の本格的な公害問題として知られる事件の原因となった栃木県の鉱山を何という？
- 問19 岩倉使節団の副使として欧米を視察し、後に初代内閣総理大臣となった人物は誰？
- 問20 明治時代、日本の重工業発展を支える石炭の主要な産地となった福岡県の地域を何という？
- 問21 1911年に制定された、日本で最初の労働者保護法を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 国民皆学	明治政府は1872年に学制を制定し、学校教育の普及を目指しました。その根本理念が「国民皆学」です。身分や性別にかかわらず、すべての子どもが小学校で学ぶことを目標としました。
問2	答え 征韓論	当時の政府内において、朝鮮が日本の国交要求を拒んだことに対して、武力を用いてでも相手を屈服させるべきだとする征韓論が唱えられました。西郷隆盛や板垣退助らが推進しましたが、国内の近代化を優先すべきだとする反対派との間で激しい対立が生じました。
問3	答え 明治天皇	1901年、田中正造は議員を辞職した上で、当時の「明治天皇」へ直接被害の惨状を訴える直訴状を提出しようと試みました。これは国民が直接国家の最高権力者に訴えかけるという極めて異例かつ決死の行動でした。
問4	答え 与謝野晶子	与謝野晶子は、戦場へ送られた弟の身を案じ、雑誌『明星』に「君死にたまふことなかれ」という詩を発表しました。この詩は、個人の命の重さと戦争の悲劇を真っ向から訴えたことで、当時の人々に大きな衝撃を与えました。
問5	答え 大日本帝国憲法	1889年に発布された大日本帝国憲法は、ドイツ（プロイセン）の憲法を手本にしています。天皇が主権者として統治権を総攬し、議会や内閣の権限を制限する強い君主権が特徴です。
問6	答え 議会政治	大日本帝国憲法の制定により帝国議会が開設されると、政党が組織され、選挙を通じて国民の代表が国政に参加する道が開かれました。当初は藩閥政府と対立しましたが、次第に政党が内閣を組む政党内閣の実現を目指すようになり、日本の近代化を支えました。
問7	答え 製糸業	富岡製糸場をはじめとする機械製糸工場の普及により、手工業中心だった生産体制から工場制機械工業へと大きく転換しました。この産業で得た利益が他の産業への投資となり、日本の資本主義経済が発展する原動力となりました。
問8	答え 自由民権運動	板垣退助らが「民撰議院設立建白書」を提出したことをきっかけに、全国で演説会や署名活動が行われました。各地で私擬憲法も作成され、国民の権利意識が高まりました。
問9	答え 殖産興業	明治政府は、官営模範工場を設立して機械による工業化をすすめ、鉱山や鉄道などの近代化を図りました。また、民間の企業を支援し、産業の育成に力を入れました。
問10	答え 孫文	孫文は「民族・民権・民生」の三民主義を提唱し、清の支配を終わらせる革命運動を率いました。彼の呼びかけには多くの志士が応え、ついに清という王朝が滅びることとなりました。
問11	答え 資本主義	資本主義は、企業が資本を投下して機械による大量生産を行い、市場で商品売って利潤を追求する経済体制です。鉄道網の整備や銀行の設立がこれを支えました。
問12	答え 紡績工場	紡績工場は、綿を糸にするための大型の紡績機械が並ぶ近代的な工場でした。効率を追求するあまり、主に農村から集められた若い女性たちが、非常に低い賃金で1日10時間を超える長時間労働を強いられました。
問13	答え 下関条約	1895年に下関で結ばれた講和条約です。日本は多額の賠償金と領土（台湾など）を獲得しました。この賠償金は、官営の八幡製鉄所の建設や軍備増強などの資金源となり、日本の重工業が本格的に発展するきっかけとなりました。
問14	答え 臥薪嘗胆	この出来事をきっかけに、当時の日本人はこの言葉を合言葉にして、対ロシアへの復讐心を燃やしました。薪の上に寝て胆をなめるという中国の古い故事に由来しており、将来の雪辱を誓う姿勢を象徴しました。
問15	答え 大阪	1880年、全国の民権派組織が大阪に集まり、国会期成同盟を結成しました。この組織は政府に対して、国会開設の請願を組織的に行う中心的な役割を担いました。
問16	答え 田中正造	田中正造は衆議院議員として、この問題がいかに深刻かを政府や議会で繰り返し訴えました。議員を辞職してまで天皇に直訴しようとするなど、その活動は非常に情熱的でした。
問17	答え 天皇	大日本帝国憲法では、天皇が国家の元首であり、統治権のすべてを握る「統治権の総攬者」とされました。軍の統帥権や議会の開閉権なども天皇の権限とされ、国民（臣民）の権利は法律の範囲内でのみ認められる形をとっていました。
問18	答え 足尾銅山	銅の採掘が急激に増えた結果、鉱毒を含んだ水が渡良瀬川に流れ出し、下流の農地や村々に甚大な被害を与えました。これが日本初の公害問題となった「足尾銅山鉱毒事件」です。作物や人体に悪影響が出たため、農民たちは激しい反対運動を展開しました。
問19	答え 伊藤博文	伊藤博文は若くして岩倉使節団に副使として参加し、欧米の国情を深く視察しました。帰国後は、日本初の憲法である大日本帝国憲法の制定に中心的な役割を果たし、議会制民主主義の基礎を築きました。1885年には内閣制度が整い、初代内閣総理大臣に就任しました。
問20	答え 筑豊炭田	筑豊炭田は、福岡県の飯塚市や直方市を中心とする地域に広がる炭田地帯です。産出量の多さから日本の産業革命を燃料の面で支え、近くにある八幡製鉄所などへ石炭を供給する重要な拠点となりました。
問21	答え 工場法	この法律は、1911年に日本で初めて制定された労働者保護法です。特に労働条件が厳しかった工場での作業において、年少者や女性の労働時間を制限したり、深夜業を禁止したりしました。